

主催

走る、投げる、跳ぶの運動の基本動作を楽しく遊ぶ、子どもの未来応援プログラム

# 土曜の総合運動遊部

ミズノプレイリーダーがかけっこやボール遊びなどの遊びを通じて子どもたちの運動への興味や運動神経の基本を育てます。



時間	毎週土曜日（月4回）	18:00~19:00
場所	熊本県民総合運動公園	体育館
対象	小学校1・2年生	
参加費	2,000円/月	
定員	各月15名（先着順）	



～【上手くなる】ことより、【楽しい】を優先したい～

この時期の子どもたちは、様々な動作を体験して反復することがとても大切です。でも、上手にできるようになるには時間がかかるし、上達ばかりが目的になると「運動つまない」となってしまう子も。

それよりも、今は「運動遊び」で運動することが「楽しい」と思ってもらうことを大事にしませんか？土曜の総合運動遊部は、社会体育をはじめとするスポーツ活動へ子どもたちが心身ともにスムーズに移行できることを最終的なゴールと考え「ミズノプレイリーダーの運動遊び」を通して「楽しく」カラダを動かすことを知ってもらうのを軸に優しく指導してまいります。

お子様の健やかな成長を願って楽しくカラダを動かす時間を一緒に作っていきましょう。

## プログラム内容

「幼少期において身につけておきたい36の基本運動動作」を中心に毎月のテーマに沿って様々な運動遊びを行います。

### 走る

(4月, 7月, 10月, 1月)



かけっこやおにごっこなど走る運動遊び

### 投げる

(5月, 8月, 11月, 2月)



様々な大きさのボールを使った運動遊び

### 跳ぶ

(6月, 9月, 12月, 2月)



ハードルやとび箱などを使った運動遊び

## 保護者の皆様へ

# 「運動遊び」は現代の子どもたちが抱える課題をまとめて解決

## 現代の子どもたちが抱える課題は主に3つあります

### ① 学力の低下

単純な国語力・数学力という事ではなく自ら考える力、自分の思いを表現する力、自ら学ぶ力が低下していると言われています。

### ② コミュニケーション能力の低下

挨拶はできても相手を思いやる力や相手を慈しむ力が低下していると言われています。

### ③ 体力の二極化と二局化

学校の体育の時間以外で身体を使った遊びもしくはスポーツをほとんど行わない不活動な子どもと、毎日60分以上の運動遊びを7日間行う活動的な子どもの間に身体活動量の格差や基本動作習得の格差が生じている状況を「二極化」といいます。

また、小さい頃からスポーツに親しんでいる子どもでも、特定のスポーツのみを行っては多様な動きが出来ず、多様な動きを経験している子どもと運動能力に差が出てきていますこれが「二局化」です。

## 「運動遊びは「相互補完性」を高めます」

幼少期は3つの発達領域が非常に成長する時期といわれます、3つの発達領域とは

### ① 「身体能力の発達」 体を動かす技能や運動能力

### ② 「認知的な発達」 思考や判断をする能力

### ③ 「社会情緒性の発達」 コミュニケーション能力

これらはそれぞれ独立して成長をするものではなくお互いの側面が関係しながら子どもの能力を育てていきます。これを「相互補完性」といいます。

運動遊びを通じて3つの発達領域の成長を促し「相互補完性」を高めていきます。

鬼ごっこって  
実はすごいあそび！

鬼ごっこには、いろいろな学習がまぎれています。走ることも走る人も鬼ごっこという遊びは、つかまった仲間を助けるにはどうしたらいいか、そしてそれを達成するために仲間と協力コミュニケーションをとり、子どもたちが自分で考えながら進みます。



## 「持ち越し効果について」

子ども時代の望ましい運動遊びの習慣は、子ども時代の健康や成長だけでなく、大人になってからの身体活動習慣や健康に大きく影響があります。

これを「持ち越し効果」といい子ども時代に運動遊びを通じて体を動かすことの楽しさを知ることが、大人になってからの身体活動習慣へつながります。

また、運動遊びで経験する人との触れ合いで育まれる自主性、成功体験は子どもにコミュニケーション能力と自己肯定感の成長を促します。

子ども時代の「楽しく」「心地よく」「自分で」は子どもたちの明るい未来へとつながっていきます。

## 「ミズノプレイリーダーが子どもを遊びに夢中にさせます。」

「プレイリーダー」は「子どもがいきいきと遊べる場を作り、子どもを見守る人」です。

子どもが安心して「楽しく」「心地よく」「自分で」遊びながら運動できるよう共に楽しみながら運動遊びをしていきます。遊びの内容は「幼少期において身につけておきたい36の基本運動動作」を中心に毎月のテーマに沿って様々な運動遊びを行っていきます。

### 「幼少期において身につけておきたい36の基本運動動作」

